

第383回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和6年9月2日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、第383回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、併せまして、平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、先月7日、昨年から整備を進めている「道の駅よかわ」が国土交通省の「道の駅」に新規登録されました。これからの道の駅は、道路サービス機能および情報発信機能に加え地域活性化の拠点機能を持つことが求められており、「道の駅よかわ」は来年春の開駅をめざし、三木市の2番目の道の駅として、三木市北部の地域活性化の拠点となるよう進めてまいります。情報発信施設の整備に加え、「山田錦の館」の農産物直売所等をリニューアルし、農産物及び加工品も含めた取扱商品の充実などにより魅力を高め、利用客の増加につなげます。

また、三木市の特産である「山田錦」は、昭和11年の誕生から88年を迎え、兵庫県により農林水産省の日本農業遺産への登録申請が進められております。「道の駅よかわ」の開駅を契機とし、将来に向けて三木市の特産「山田錦」の魅力をさらに発信するとともに、農村の活性化及び持続的な発展を図ってまいります。

さらに、来月1日から、新たな電子申請システムを導入し、市民サービスの向上を図ります。マイナンバーカードによる個人認証を活用し、証明書等の申請から手数料の決済まで、オンラインで手続きが完了するよう構築し、「行かなくていい市役所」に向けた取組を加速させます。加えて、町ぐるみ健診のインターネット申込管理システムを導入し、利便性の向上を図ります。今年度の目標登録者数である7,000人を達成した「みっきい☆健康アプリ」からも電子申請や町ぐるみ健診の予約が行えるよう連携させることで、健康づくりに加え、デジタル社会の入口として、多くの方にご利用いただけるよう進めます。今年度は、市内のすべての公民館にWi-Fi環境を整備し、公民館を地域のデジタル化の拠点とします。Wi-Fi環境の整備により、オンライン講座の実施や来館者がスマートフォン等を利用

しやすい環境となります。デジタルデバイド（情報格差）の解消のため、スマートフォンの利用が不慣れな方を対象とするスマホ教室を引き続き行うことで、誰一人取り残さないデジタル化を推進してまいります。

先月24日には、みっきい夏まつりを盛大に開催しました。2万5千人の方に来場いただき、多彩なステージや3,000発の花火で大いに盛り上がりました。4年ぶりの開催となりました昨年につきましては、大規模な交通渋滞が発生し、会場までたどり着けない方もおられるなど、大きな混乱が発生しました。本年は、昨年の教訓を生かし、会場及び会場周辺の駐車場を廃止するとともに、会場周辺の道路の交通自主規制を実施するなど対策を行い、安全に開催することができました。市民まつりとして、人々が集い、ふれあう機会を創出し、市民のきずな及びふるさと三木への愛情や誇りを育むとともに、チーム三木一丸となって、元気で活力ある三木市をPRすることができました。これもひとえに、実行委員会をはじめ、関係団体の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

このたびの市議会定例会では、条例関係3件、補正予算5件、

決算の認定が7件、併せて15件の提案を予定しております。

また、後日、工事請負契約の締結1件、財産の取得1件、人事案件3件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、どうか慎重なるご審議をいただき、ご賛同を賜りますようお願い申し上げます、開会のあいさつといたします。